



Asian Productivity Organization “The APO in the News”

Name of publication: Nikkan Sangyo Shimbun (1 September, 2015, Japan)
Page: 6

タイ・エコプロダクツ国際展

積極参加を呼び掛け

APO緑の生産性諮問委

アジア生産性機構（APO）は25日、緑の生産性諮問委員会（会長 北山禎介・三井住友銀行会長、GPAの第13回会合を東京・戸塚のリーガロイヤルホテル東京で開いた。来年6月8-11

次回POFなどで意見交換

日にタイで開催予定の第10回エコプロダクツ国際展（EPIF）について、開催国決定の経緯や日本側運営事務局の報告、主催国のタイ工業連頭タイ工業環境機関のジュン・カンバンナパクル執行役員、ウオラヌット・カサリカン上席環境オフィサーによる現地準備状況の説明が行われた。

会に先立ってあいさつした北山会長は「GPAとAPO参加企業には第10回EPIFへの積極参加を検討いただきたい」と呼びかけた。

国連気候変動枠組条約に向けた日本政府の取組み案について「目標値に関心が集まるが、GPAとしては優れた技術普及などによる世界全体で10億トンの削減に貢献することを内容に注目。目標達成し、世界レベルで温暖化ガス削減に貢献するには省エネ、再生可能エネルギー、エネルギー補助金など多角的な手段が考えられ、日本産業界の技術を生かす機会がある」とし、「途上国の気候変動問題への先進国の取組み支援で、APO加盟国中心に日本産業界への期待もますます高ま

る。環境技術やイノベーションの紹介を広く行うことはわれわれの任務であり、EPIFは道筋の一つ。タイでの政府の全面的支援による開催は意義深く、アジア各国と日本経済の協力的発展に大きく寄与する」と述べ、今後引き続き世界の環境問題解決、持続可能な社会実現に向け、産業界、企業の社会的責任を果たしていくと述べた。